

令和元年（2019年）9月20日（金曜日）

三島駅南口 駐車場のままと再開発 収益見通しで質疑

三島市議会9月定例会は19日、一般質問を行った。4氏が登壇し市の姿勢をたずねた。三島駅南口再開発事業について石井真人氏は「駐車場のまま維持し再開発しなかった場合と、再開発した場合の収益の分岐点は着工から何年後か」と質問。市は「事業の実施で毎年約2億円の増収を見込み、駐車場運営を続ける場合は約1億円の収益があるが、現在の駐車場は事業開始まで土地を有効活用するた

めの暫定運用。仮に再開発をせず駐車場事業を経営する場合、土地開発公社から用地の買い戻しに約24億円必要となってくる。これらの条件で試算すると、36年後に双方の収益はプラス12億円で並ぶことになる」と説明した。

一方で「再開発事業を実施した場合の増収は市税のみを想定し、新たな駐車場収益などは含んでいないため、それらを加味すると分岐点までの時間は、さらに短くなると考える」とした。